

男女共同参画社会を考える情報誌「ウィズ・ユー」

WITH YOU

どっちだろう？
ちょっと
気になる。

うちの
パパは
イクメンかな。



【もくじ】

P2~5 **【特集】パパはイクメン？**

はちのへのママに聞きました。

P6 **DV 防止レポート「夫婦げんか、どこからがDV？」**

DV 防止活動家 木村ともこさんに聞きました。

P7 **教育現場レポート「自分も相手も大切できる子を育てるためには」**

千葉幼稚園副園長 岡本潤子さんにインタビュー

P8 **ワーク・ライフ・バランスな夫婦の紹介**

仕事も家事・育児も協力し合う「菊地さん夫妻」を訪問インタビュー

2011
Autumn
NO. 27

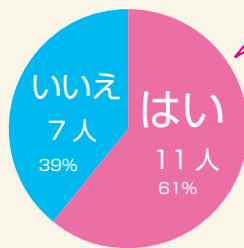


はちのへのママに聞きました。

パパはイクメン？

育児を自ら進んで行うパパ(イクメン)が増えており、全国的にイクメンブームです。では、はちのへのパパはどのようなのだろう？そこで、“こどもはっち”に遊びに来ていた、子連れのママ18人にインタビューしました。

質問 パパは、イクメンですか？



11人のママが「はい」と答えました！

ママの年代	人数	パパの年代	人数
20代	9人	20代	7人
30代	8人	30代	9人
40代以上	1人	40代以上	2人



【イクメンとは】

子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のこと。

はい！

●ママ30代 パパ30代

おむつ交換、お風呂に入れてくれる。子どもをドライブに連れて行ってくれる。七夕飾りやクリスマスの飾り付けなど一緒に物作りも。近所にお散歩や、遊びに連れて行ってくれる。

●ママ30代 パパ40代以上

子ども2人を連れて出かけてくれる。お風呂に入れてくれる。他のママ友から話を聞いて比較すると、家事も結構手伝ってくれる方だ。

●ママ30代 パパの30代

自分は主婦で主人が養ってくれるだけでも感謝。飲み会より子どもを優先してくれる。むだづかいも減った。

※インタビューの中から一部抜粋

いいえ！

●ママ40代以上 パパ40代以上

仕事が忙しく全くやらないわけではないけれど、自分一人にまかせっきり。たまに子どもと一緒に遊ぶくらい。家事など頼めばやってくれるけれど、毎回お願いしないといけない。

●ママ30代 パパ30代

遊ぶときは遊んでくれるが、仕事で夜遅く帰宅するなど、忙しいため。

●ママ20代 パパ20代

育児雑誌などをみてもイクメンには、あてはまらないと思う。独身気分が抜けていない。

夫婦の役割分担 現実と理想を 見てみよう！

「平成21年
青森県男女共同参画に関する意識調査報告書」

	現実	理想
家計は共同、妻が家事・育児	39.6%	13.3%
家計は夫、妻が家事・育児	32.7%	18.4%
すべて共同	20.2%	63.9%

▲上位3項目

理想は、
すべて共同だね！





質問 パパは、育児休業を取得しましたか？

いいえ
18人
100%

18人のママ全員が「いいえ」と答えました！

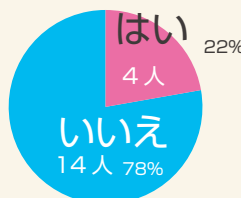
いいえ！

- 自営業で会社経営をしているため。
- 育児休業の制度はあるけれど、授業（大学）があるので穴を開けられない。
- 周りがとらない、理解のない職場であると思う。
- 出産前後に育休ではないが2日間の有休をとった(3人の子どもの出産時に3回とも)。〔平成22年度雇用均等基本調査(厚生労働省)〕
- 出産の時に、スケジュールを調整して1週間くらい有休をとってくれた。
- 制度はあるけれど話し合っ、育休はとらなかった。
- 無理ではないけれど、実家が近く助けも得られやすいのでとらなかった。
- 忙しく育児休業がとれるような会社でない。

事業所への調査結果では 育児休業取得率

女性 男性
83.7% 1.38%

質問 ママは、育児休業を取得しましたか？



「いいえ」と答えた14人のうち、8人が結婚、出産を期に退職しています。

はい！

- 最大3年までとれる。けっこう育休をとれる雰囲気、理解のある職場。(取得期間：2年間)
- 短かったと思う。子どものことを考えると体力をつけてからが良いと思った。(取得期間：1年間)
- 職場は取りやすい雰囲気(他のママも半年や1年育休をとっている)。(取得期間：1年間)

いいえ！

- 子どもがほしいと思い、退職したため。
- 結婚後退職したため。
- 専業主婦なので。
- 育休はとらず、退職した(やめざるをえない環境だった)。
- 出産を期に仕事を辞めた。

質問 パパに一番やってほしいことは？

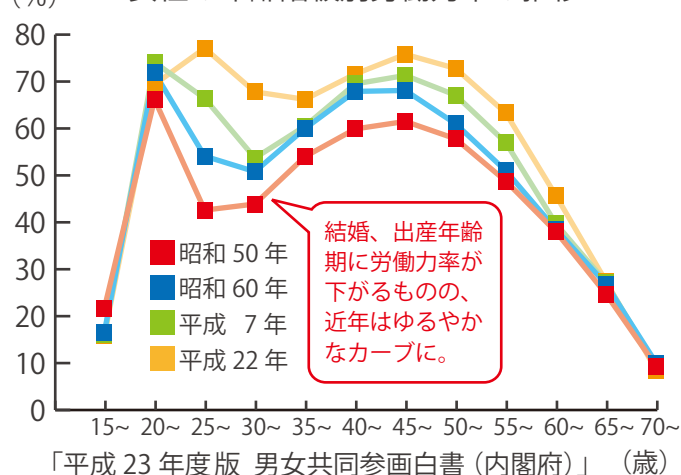
回答 イクメンパパの場合

- やってほしいことはやってもらっているので特にない。
- 一番上の子に厳しすぎるところがあるので、もっと優しくしてほしい。弟もいるので、もっと姉弟平等に。
- 有休をとって、子どもといる時間をもっと増やしてほしい(いつも仕事を優先しているため)。
- 自分のことは自分でやってほしい、たまにパパの手料理が食べたい。

回答 イクメンではないパパの場合

- もっと子どもと遊んでほしい。幼稚園のイベントにも積極的に参加してほしい。子どもと2人きりで出かけてほしい(子どもがそれほど父親になついていないため)。自分の時間を持ちたい(買物、映画もたまにはみたい)。
- おふろにいれること。ただみるのではなく、ケガをしないように、相手をしてあやしてほしい(横でただテレビをみていることも)。家事の間に子どもをみてほしい。

女性の年齢階級別労働力率の推移





パパが育児に参加すると!

パパの育児参加は、ママや子どもにどんな効果があるのだろうか?

回答

質問 **パパが育児に参加することのメリットは?**

- 休みたい時に休ませてくれるので、自分の時間を持てる
(寝不足の時や買物、美容院など子どもを連れて行けない時など)。
- 私が体調を崩しても、すぐに休ませてもらえるので長引くことがない。
気分転換をさせてくれる(買物、美容院、針治療など)。
- 子どもが友達を家によびやすい、遊びやすい環境ができる。
- 早く帰宅してくれるだけでも気持ちが楽になる。
- 子どもに食べさせる、後片付けをすることで子育ての苦労を理解するようになる。
- 自分の気持ちが楽になれる。家事など他にやれることが増える。
- 自分の気持ちにゆとりができる。
- パパも育児をしてくれることで、子育てが苦にならない
(自分がすべてやらないといけなと思わなくていい)。



ちょっとした間の
リラックス、
パパありがとう。



- 子どもがぐずってつらかったなど、子育ての苦労の気持ちをわかってくれる(気持ちに寄り添ってくれる)。
- 子どもの世話をよくしてくれるので自分の時間もてる。気持ちが安定する(一人じゃないという安心感)。
- 楽になる、見てもらっている間、家事や他のことができる。休みの日に子どもと公園へ行ってくれるので、半日くらい一人の時間もてる。
- 子どもとパパとの関係を築くことができる。一人の時間ができ、子育ての息抜きができる。

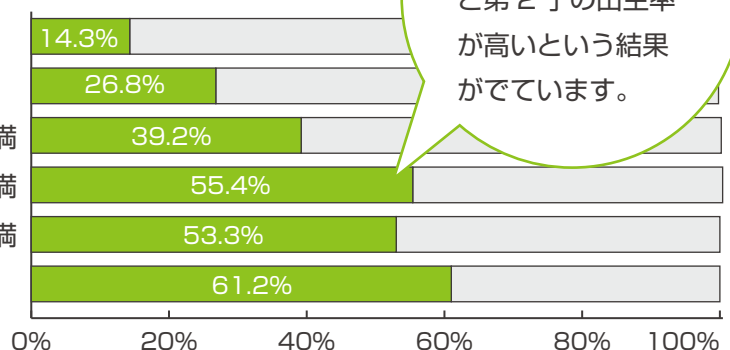
パパが育児に参加する時間が長いほど第2子の出生率が高いという結果がでています。

夫の休日の家事・育児時間別の第2子以降の出生状況

■ 出生あり
■ 出生なし

「第8回 21世紀成年者縦断調査(厚生労働省)」

家事・育児時間なし
2時間未満
2時間以上4時間未満
4時間以上6時間未満
6時間以上8時間未満
8時間以上





イクメンになるコツ!

「パパはイクメン」と答えたママへの質問

質問 パパがイクメンになったきっかけは？

回答

- ママが怖いからかも(笑)。「飲み会は1次会まで」「遅くても12時までに帰宅」などパパをしつけました。最近はお金のむだづかいもやめ、まっすぐ家に帰ってくるなど自発的になってきました。
- 怒るのではなく、やったことに対してほめることが大切です。前はやってほしいをお願いしていたけれど、やったことに「ありがとう」と言葉を添えることで、その後は言わなくてもやってくれるようになりました。
- 手伝ってくれた時に「上手だね」と声をかけるのがコツですね。
- 子どもができたなら自然と変わりました。
- パパは子ども好きなので、自分から自発的に。
- 自分で気づいて、自ら率先してやっています。

- 母乳育児の期間は寝不足も続き、戦争のようにケンカがたえなかったし、夜もつらかったです。けれど母乳育児が終わり、子どもから少し手が離れて余裕ができ、私がパパに対して思いやりをもてるようになったことでパパが変わったと思います。
- パパに対して「ありがとう」を伝える、ほめる、おだてることでパパが嬉しく、自信もついてきて、さらに取り組んでもらえるようになりました。ママが細かいこと目をつむることも必要ですね。

「上手だねパパ。」
「ありがとうパパ」
など感謝の言葉を
かけてあげよう。



質問 イクメンになるコツは？ パパにも聞いてみました。

回答

- ママにやり方を聞きながらミルクをあげるなど育児を楽しむこと。
- 家族と一緒になるべく過ごすこと(家族といることによって幸せを感じるようになった)。
- もともと子どもが好き。仕事から帰ってきて寝るまで子どもと一緒にいること(仕事で疲れていても、子どもと一緒にいると元気がでる)。
- 職場の先輩パパなどから育児のアドバイスをもらい参考にすること(家庭のことを相談できる職場環境があるといい)。
- 一日、一日の子どもの成長に気づくこと(楽しくなってくる)。
- 積極的に世話をしてみる(子どももなついてきて、さらに世話をしあげたくなる)。

ママも子どもも
喜んでくれるから
料理も楽しいよ。



パパをイクメンにナビゲートする情報サイト紹介!

●イクメンプロジェクト

イクメンプロジェクトの活動内容や育児休業制度など様々なイクメン情報が紹介されています。

●カエル! ジャパン

ワーク・ライフ・バランスやパパの育児休業体験記など情報が紹介されています。

夫婦げんか、 DV防止リポート

どこからがDV？

DV防止活動家
ぼびい助産師オフィス代表
木村ともごさんに聞きました。



30年以上の助産師としての経歴を持ち、またカウンセラーやデートDV防止プログラムファシリテーターとしても活躍されている「ぼびい助産師オフィス」の「親の時間」はちのへ代表の木村ともごさん。夫婦げんかからDVに発展してしまふ要素がどこにあるのか？また境界線はどこなのか？という疑問に答えてくれました。

DVの要因と境界線とは？

DV（ドメスティック・バイオレンス）は配偶者（事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含む）からの暴力です。相手の尊重なしに、言葉やパワーで思い通りにしようと支配することがDVへと発展させる要因です。本来なら、夫婦はお互いを尊重し合い、健全な関係性が理想なのですが、反対に、安心や安全が脅かされ、怖いと感じ、長期間苦痛を感じても相手に言えない不健全な関係が境界線、DVの始まりです。なので、夫婦げんかの際、いつもと違って黙りこむことや普段と違う行動がでてくると危険です。それ以上相手

を追い込むのは、気づいてやめましょう。DVの種類は、①身体的暴力、②精神的暴力、③経済的暴力、④性的暴力と大きく4つに分かれています。このうち①、③、④は目に見えます。DVです。②の精神的な暴力は、目に見えず、互いに認識しにくいのが特徴です。これらの暴力の、どれかひとつでも起こったり、長期間に渡ると、自己肯定感が少なくなり、生きていく希望ももうすれていくこともあります。また、夫婦げんかを子どもが見て、聞いて、間接的にDVを受けるケース（心理的虐待）もあり、父が母に暴力をふるう姿を子どもが見て、「お父さん（お母さん）が怖い」という気持ちを抱えたり「暴力をふるってもいい」という間違っ

た情報をもたらします。

DVをガマンしないで！ 自分を責めないで！

現在でも、社会的すりこみ、社会的性差による差別、偏見が根強くあり、夫に殴られた妻が、友人や家族、地域に相談しても、中にはガマンしなさいと言われ、さらに傷つく二次被害を招くこともあります。現在では、被害届けが出されると、一時避難場所として「シェルター」、次に生活支援の家として「ステップハウス」という場所もあります。また、NPO法人や民間団体では、あらゆる傷つき体験をした方のための様々なこころの回復講座も実施しています。今後の課題は、加害者側の更正と被害者側の支援の両輪で、DVの防止に取り組まれていくことです。普段から、不健全な関係にならないためにも、互いに話しを聞き合える関係を築いて欲しいと思います。また、youメッセージ（あなたは○○だ）よりも、Iメッセージ（私は○○と思う）という言い方に変えてみてください。自分の気持ちや伝えられ、お互いどんな気持ちでいるかわかり合えます。色々な気付きを感じ、お互いが尊重しあえる関係が築けるでしょう。

[DV相談窓口]

[相談機関名]	[電話番号]	[受付時間]	[住所]
八戸市家庭(児童)婦人等相談室(八戸市庁内)	☎0178-43-2111(内線274)	平日9:00~17:00	八戸市内丸1丁目1-1
八戸警察署・生活安全課	☎0178-43-4141	平日8:30~17:00	八戸市城下1丁目16-25
青森県警察本部・警察安全相談室	☎017-735-9110	平日8:30~17:15	青森市新町2丁目3-1
DVセンター(三戸地方福祉事務所)	☎0178-27-4435	平日10:00~17:00	八戸市尻内町字鴨田7
青森県女性相談所	☎017-781-2000	平日8:30~20:00 土日祝9:00~18:00	—
DV相談ナビ(内閣府男女共同参画局)	☎0570-0-55210	24時間	—
青森地方法務局 八戸支局	☎0178-24-3351	平日8:30~17:15	八戸市根城9丁目13-9
女性の人権ホットライン(青森地方法務局)	☎0570-070-810	平日8:30~17:15	青森市長島1丁目3-5

自分も相手も大切にできる 子を育てるためには

性別にとらわれず、個人が尊重され、イキイキと自分らしく生きることのできる社会の実現のためには、子どものころからの男女平等観に立った教育が必要とされていることから、幼児教育にたずさわる千葉幼稚園副園長の岡本潤子先生に子育てについてお話を伺いました。

千葉幼稚園副園長
岡本潤子さんに聞きました。



性別によって 教育の違いつてあるの？

大事なのは「人間教育」と語る岡本先生。昭和50年代には、男の子は青、女の子はピンクと色分けされていた園児のスモックも、今では男女とも紺色に統一されている千葉幼稚園。運動会のリレーも男女混合で行い、互いに協力し合う関係づくりに励んでいる。男女の違いという点では、年中組ぐらいから、少しずつ変化が見られるという。遊びが「おままごと」や「人形遊び」が女の子の間で主流になり、男の子は「〇〇レンジャーごっこ」と成長の過程に起こる、自然な変化だ。しかし、子どもたちの成人まで、見通しを持った教育方針を掲げている千葉幼稚園では、「男の子だから」「女の子だから」という差はつけず、自由に遊ばせるのが基本。あくまで、子どもたちの主体性を伸ばす教育が大事とのこと。

特色のある取り組みについて

子育ては、母親がするのが当然という意識があった当時から、千葉幼稚園では「父性」の必要性、父親の子育て参画の重要性を提唱している。お父さんも積極的に子育てに関わって欲しいという思いで始まった「お父さん委員

会」。設立は昭和54年と、今のような「イクメン」なんて言葉はない時代に始まった全国でも先駆けの活動。お父さんの活躍が家庭にいい影響を与えると

いう。園のイベントは、何組もの親子が一緒に作業することで、互いに親子の関係性が見えてくる場でもある。そこで、仕事関係以外の仲間ができ、子どもたちの成長を話せる友好関係が築かれる。すると、幼稚園に来るお父さんたちの笑顔が増え、子どもたちへの言葉がけも多くなる。そして不思議なことに、お母さんの表情も日に日に明るくなっていくのだそう。きつと家庭の中でもいい団らんがあるのだろうと岡本先生は言う。お父さんやお母さん自身が行事を楽しむこと、親が夢中になって頑張っている様子を子どもが見る。それだけで、子どもたちはうれしくて力がわいてくるのだと言う。

忙しいママやパパへの アドバイス

多忙な日々を送っている親たちに、ちよつとした時間に来る、子どもとふれあうコツを教えてください。「週に一回でもいいから、絵本を読んであげること。月に一回でもいいから、一緒に何か作品を作ること。折り紙や、紙ヒコーキなど簡単なものでいいです。

休みの日は、公園でボールや体を使って一緒に遊ぶことを勧めています。「子育ては無我夢中と私たちはよく言っています。まず、今の親子関係を大切に感じてほしい。それが、学校にあがってからの友達関係、大きくなつてからの対人関係をうまく築いていけるエネルギーになるのです。

たくさんさんの情報に囲まれている私たちは、つい教育に関して欲張りになってしまいがち。けれど、子育てにおいて、するべきことは昔と今も変わらない。そうした中で、大人が子どもたちのいいモデルになっていくのが一番。」と語る岡本先生。「ささいなことでも、子どもたちは感じています。少しずつの積み重ねが大事。幼稚園に来るのは、年に一回でも二回でもいいです。ちよつとしたことでも、お父さん、お母さんの姿は子どもたちの印象に残ります。子育ての悩み事があれば、いつでも相談にのりますよ。」と笑顔でアドバイスをしてくれました。

口頭、お父さんやお母さんへお話ししている「ちからはできるものだせるもの」
岡本潤子さんの言葉を大ホールに掲示しています。



ワーク・ライフ・バランスな 夫婦の紹介



仕事も育児・家事も協力し合い、イキイキと暮らす菊地さん夫婦を紹介します。夫婦で子ども服を経営されている菊地さん夫妻。4才の男の子と2才の女の子の4人家族。パパの菊地純キクチ アツシさんからお話を伺いました。

◀八戸市新井田西 お店の中で

お二人がお店の経営をスタートしたきっかけは？

もともと、私たちは新潟に住んでいて、自分はサラリーマンでした。その間、妻がネットショップを立ち上げ、育児の合間にネットショップを運営していました。しかし、半年前、家庭の事情で、妻の実家がある八戸に引っ越すことに…。それを期に、私は会社を辞め、妻のうまくいっていたネットショップの実店舗として、子ども服店「ブラウニーズ」として八戸市新井田西にオープンしました。

ご主人が主に家事を担当していることは、お二人のご両親からどう思われていますか？

「自分たちが良ければいいじゃない」と自分の親も、妻の両親も、いつも応援してくれています。

お仕事や家事は楽しんでいらっしゃいますか？

家事や料理は嫌いではなかったし、お店の広告やポップづくりなど、物を作るのが大好きです。特に、料理は美味しいといってくれると、作りがいがある。インターネットサイトのレシピを参考にしながら毎食作っています。

これからの仕事や家庭生活で、もっと改善したいことはありますか？

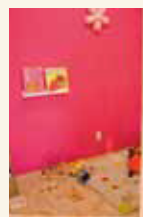
生活リズムをもっと安定させていきたいですね。保育園からアドバイスをもらいながら、子どもたちの早寝早起きや食事の時間など、規則正しい生活習慣を心がけています。

お店の経営と家庭生活を両立させ、お互いにイキイキとうまくやっていくコツがあったら教えてください。

仕事のスケジュール時間をしっかり決めることだと思っています。今まで、仕事で遅い時間まで働いていたため、どうしても子どもの就寝時間が9時を過ぎていました。仕事は自由な分、どこかで時間を決めて区切りをつけないと、制限なくやってしまい、家事が後回しになってしまふ。そんなジレンマがありました。今では、スケジュール管理を徹底することで、子どもを8時までに寝かせることを目標にしています。また、子どもたちがお片づけや歯磨きなどを自ら率先して取り組むようになりました。

これからどんな家庭にしていきたいと二人で話し合っていますか？

もう少し時間を効率的に使って、楽しみながら仕事と家事に育児に励んでいきたいです。やはり、時間管理が課題かな(笑)。



夫婦でアイデアをだし合って設けた子どもが遊べるスペース。



八戸市男女共同参画
シンボルマーク

編集スタッフ

パパママふぁいと協会

企画・編集 下町 三三夫
取材・文章 佐々木 優子
写真撮影(表紙) 中村 佳代子
アドバイザー 平間 恵美
井ノ上 洋一
木村 ともこ
中山 恵美子